

わが家の防災メモ

泉田町

◎災害発生時の集合場所

一時避難場所	組の災害対策拠点
--------	----------

- ・泉田地区災害対策本部：泉田市民館
- ・指定避難所：富士松南小学校（0566-36-0404）
- ・避難可能施設：泉田市民館（0566-23-9943）

◎家族・親戚・知人等の連絡先

名前	勤務先・学校	電話	携帯電話

◎準備しておきたい非常持出品【非常持出品の保管場所：】

非常持出品チェックリスト	品名	✓	品名	✓	品名	✓
	食品・飲料水		レジャーシート		上着、下着	
	携帯ラジオ（予備の電池）		ろうそく・ランタン		軍手	
	懐中電灯（予備の電池・電球）		ナイフ、缶切り、栓抜き		マスク	
	救急医薬品・常備薬		ティッシュ（ウェットタイプも）		手指消毒液	
	貴重品（通帳・健康保険証等）		タオル（使い捨て紙タオルも）		体温計	
ヘルメット、防災ずきん		ビニール袋		現金（コイン）		

備蓄品チェックリスト	品名	✓	品名	✓	品名	✓
	非常食7日分（缶詰・レトルト等）		ラップ、アルミホイル等		スリッパ	
	飲料水7日分		鍋、やかん		雨具（レインコート等）	
	燃料（コンロ、ガスボンベ）		簡易トイレ		筆記用具	
	マッチ、ライター		ティッシュ・トイレットペーパー		寝具（毛布、寝袋等）	
マスク・カイロ等		簡易食器（紙皿、紙コップ等）		工具類（ロープ、スコップ等）		

～風水害に備えよう～

台風や大雨は予測ができるからと安易に考えず、日頃から対策を立てておきましょう。

次の避難に関する情報が発表された時は「地区災害対策本部」を設置する。
⇒会長、副会長、本部員、事務局員、顧問は、自分や家族の無事を確認したのち、招集がなくても直ちに参集する。

◎避難に関する情報

緊急度	警戒レベル	避難行動に関する情報など	とるべき行動
高	警戒レベル3	避難準備、高齢者等避難開始（市発令）	・いつでも避難できるように準備をしましょう。 ・避難に時間のかかる人とその避難を支援する人や、早めの避難が必要となる川沿いに住んでいる人は、避難を開始してください。
	警戒レベル4 （危険な場所から全員避難！）	避難勧告（市発令）	・安全な場所へ避難を開始してください。 ・外が危険な場合は、屋内の高いところなど安全な場所へ避難してください。
	警戒レベル5	避難指示（緊急）（市発令）	・災害が発生するおそれが極めて高い状況となっているため、緊急に避難してください。 ・外が危険な場合は、屋内の高いところなど安全な場所へ緊急に避難してください。
		災害発生情報（市発令）	・既に災害が発生している状況であるため、命を守るための最善の行動を取ってください。

わが家の防災アクションプラン

泉田地区自主防災会 R2. 8改訂

南海トラフ巨大地震被害想定

南海トラフ巨大地震とは、太平洋にある駿河湾沖から日向灘にかけてのトラフ（海溝）で発生する地震で、約150年周期で繰り返し発生しています。1854年の安政東海地震以来約160年以上にわたって大地震がなく、近々大地震が起こるとい根拠はここにあります。

愛知県が平成26年5月に発表した被害想定では、愛知県全体で建物被害は全壊・焼失棟数最大約38万2千棟、人的被害は死者数最大約2万9千人。

しかし、**減災対策を講じれば、全壊棟数及び死者数は約6割減らすことができると想定しています。**

【刈谷市（泉田町）における被害想定】

想定項目	過去地震最大	理論上最大
最大震度	6強	7
最大津波高	約2.0m	約2.1m
全壊・焼失棟数	約1,400棟 (約50棟)	約10,000棟 (約350棟)
死者数	約60人 (約2人)	約400人 (約15人)

（泉田町における被害推測）

R2. 7. 1統計により推測

人口 刈谷市153,229人 泉田町5,663人
世帯 刈谷市67,628世帯 泉田町2,352世帯



【組災害対策拠点及び地区災害対策本部の設置基準】（地震時）

震度5強以上の地震が発生した時に設置する

⇒下記参集対象者は、自分や家族の無事を確認したのち、招集がなくても直ちに組災害対策拠点及び地区災害対策本部に参集する。

組：責任者、責任者補佐、各係長（情報、安全防犯、救出救護、防火）

地区：会長、副会長、本部員、事務局員、顧問、各部正副部長（情報、安全防犯、救出救護、防火、被災者生活対策）

刈谷市周辺を通過する活断層

豊田市（猿投）から豊明市を経て大府市に至る「猿投境川断層」、名古屋市（大高）から大府市・東浦町・高浜市を経て碧南市に至る「大高高浜断層」があります。

これらで構成される「猿投～高浜断層帯」の活動間隔は平均4万年程度で、最新の活動は約1万4千年前と考えられています。

文部科学省の地震調査研究推進本部によると、今後300年以内に地震が発生する確率は低いが、南海トラフの活動に影響を受けて地震が発生する可能性もあるとされています。



[愛知県発表による]